



入院生活のご案内

～安全に入院生活を送っていただくために～

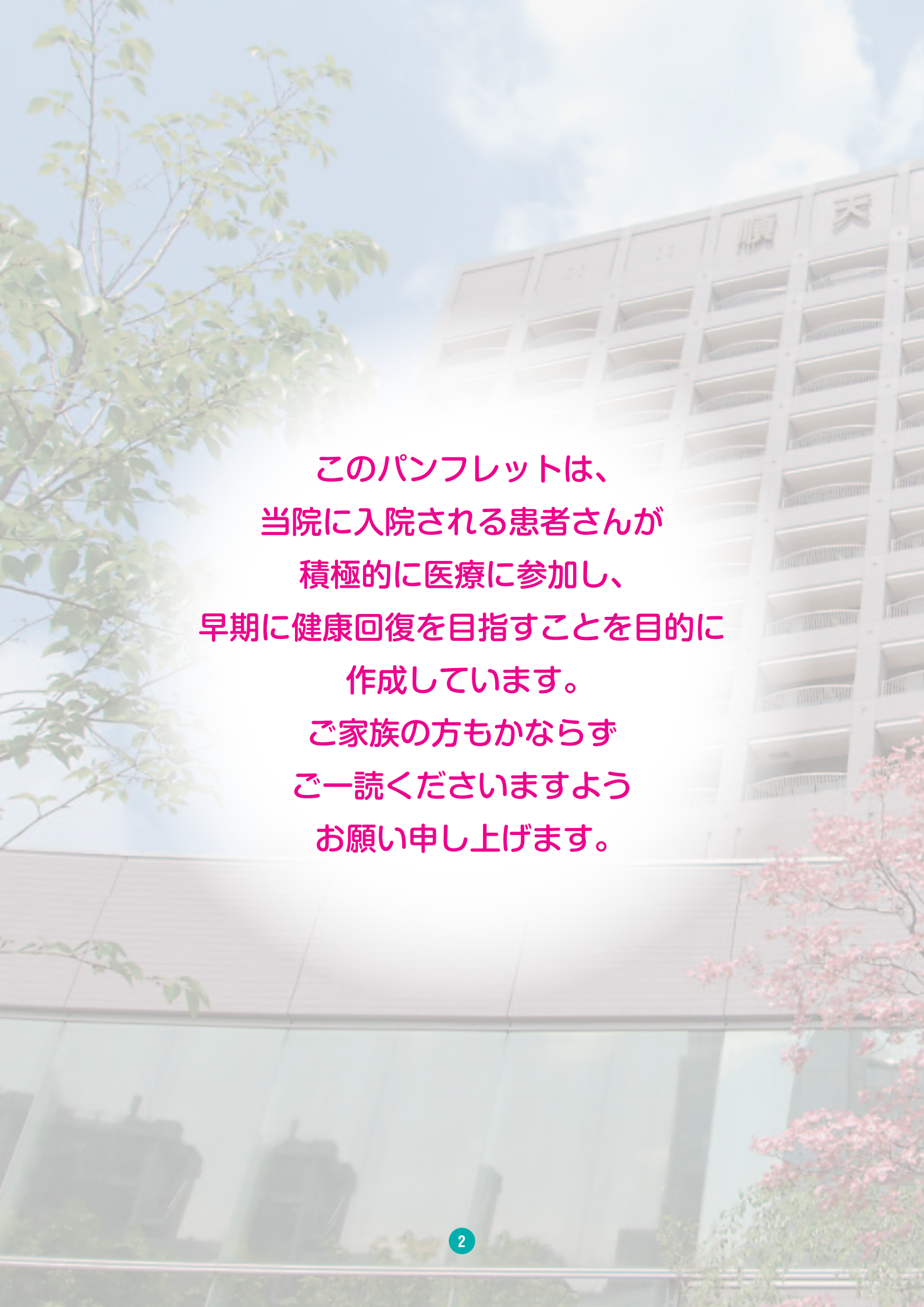


順天堂大学医学部附属順天堂医院

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>



このパンフレットは、医療関係者の方々に
利用していただくように「メディア・ユニバーサル
デザイン」の考え方で作られています。



このパンフレットは、
当院に入院される患者さんが
積極的に医療に参加し、
早期に健康回復を目指すことを目的に
作成しています。
ご家族の方もかならず
ご一読くださいますよう
お願い申し上げます。

入院したら……

- 非常口をご確認ください。
- リストバンドの氏名と生年月日をご確認ください。
- 担当医師・担当看護師の名前をご確認ください。
- ドナーカードやリビングウィルをお持ちの方は、あらかじめお知らせください。

安全にお過ごしいただくために……

- ベッドは転落防止のため柵がついています。ご自宅の生活と入院生活は環境が異なります。安全のため柵を上げてのご使用をお願いしております。また、上体を上げ下げする電動リモコンがついています。リモコンの操作で柵の間に身体や物が挟まらないようにご注意ください。
- オーバーベッドテーブルは動かすことができます。寄りかかるとテーブルが動いて転倒する危険がありますのでご注意ください。
- ベッドに寝たままで冷蔵庫のドアの開閉を行うと転落の危険がありますのでご注意ください。
- 備え付けのロッカーがありますが、ベッドの上に立ち、棚の物の出し入れを行うと転落する危険がありますので、ご注意ください。
- ナースコール
看護師を呼ぶボタンが枕元にあります。ご自分の使いやすい位置に置き、いつでも看護師を呼べるようにしてください。
- テレビ・ラジオ・パソコン等
多数室の場合は同室者の迷惑にならないよう、イヤホンをご利用ください。
病室により、テレビをご利用の際、プリペイドカードが必要になることがあります。
病棟に自動販売機がございますのでご利用ください。

● ご入院される方、手術を受けられる方へのお願い ●

手術や術後に必要な医療機器（モニター類）を指先にはめる事があります。マニキュアなどにより正確な値が測定できない恐れがあります。下記のような、爪（ネイルアート）・マニキュア・付け爪・ジェルネイルは除去し、爪は短く切りそろえてくださるよう、お願いいたします。

手術中は、目を保護する目的でテープを貼る場合があります、そのテープをはがす際、エクステンションが取れる可能性があります。また、外れたエクステンションによる角膜損傷などの恐れがあり危険です。付けまつげやエクステンションはご入院前には新たに付けないでください。

ご入院中の検査や手術を安全に受けていただくために、身の回りのご準備を入院前にお願いいたします。



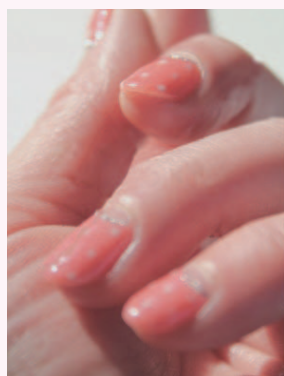
手術中のアイパッチ



エクステンション



ネイルアート



ジェルネイル

✿ 入院中の生活について……

1. 食事

- 1) 食事時間は、◆朝食 8 時ごろ ◆昼食 12 時ごろ ◆夕食 18 時ごろ
多少時間がずれることがありますのでご了承ください。
- 2) 一般食の方のみ、2 種類のメニューから食事を選択することができます。
- 3) 食物アレルギーや宗教上の理由により、召し上がれない食品がある方は、医師または看護師にお知らせください。

2. 入浴・シャワー

- 1) 入浴・シャワーは病状によりできない場合があります。担当医師の許可が必要となりますので、ご希望されるときは、担当医もしくは看護師にご相談ください。
- 2) 利用方法については、入院後ご説明いたします。

3. 環境整備

ハウスキーパーが病室の掃除を行います。祭日・休日はゴミの回収のみになります。

4. 寝具（リネン）交換

週 1 回寝具の交換を行います。汚れたときは随時交換いたします。

5. 消灯

21 時（小児病棟は 20 時）に消灯いたします。

ナースコールの位置をご確認の上、おやすみください。夜間も看護師が巡回いたします。

◇消灯後は他の患者さんのご迷惑にならないようお願いいたします。

◇J-STAT 放送（救命のための全館放送）は夜間でも行いますのでご了承ください。

◇多床室の場合は、消灯後でも他の患者さんの状態により吸引などの処置を行います。ご理解いただきますようお願いいたします。

6. クリーニング

- ・コインランドリー（有料）がございますのでご利用ください。
- ・クリーニング（有料）もお受けいたしております。お届けまで 5 日程度かかります。私物にはお名前をお書きください。

7. 外出・外泊

ご希望されるときは、担当医師の許可が必要です。外出および外泊時は「許可書」をお渡しいたしますので外泊・外出中はご持参いただき、お帰りになりましたら看護師にお渡しください。

8. 家族付添について

原則として付添はお断りしております。

病状等によりご家族が付添を希望される場合は、担当医の許可が必要です。
医師もしくは看護師にご相談ください。

9. 病室の移動

治療上、病室を移動していただくことがありますので予めご了承ください。
また、病室の変更をご希望される場合は看護師にご相談ください。

10. 病棟・病室設備について

◆テレビのご使用にあたって

- ・多数室ではイヤホンをご使用ください。
- ・病室によってプリペイドカードが必要になります。病棟の自動販売機でお求めいただけます。

払い戻しは1号館1階上空エレベーター（水色）横、B棟1階入退院受付入り口に精算機がございます。

◆電気器具の持ち込み

原則ご遠慮いただいておりますが、入院後看護師にご相談ください。

◆インターネット接続について

- ・1号館14階病棟およびB棟 有償室のみ（Wi-Fi）

お持ち込みになられたパソコンの場合は設定が必要です。設定の復元はご自身でお願いします。

◆個室の電話利用について

各電話会社で行っている特別の電話番号による無料・定額サービスは、電話料課金システムが誤認識し、電話料金が高額になる場合がありますので利用はご遠慮ください。

（例：IP電話（050で始まる）、GoGo Card（0800-080-0055）など）

◆病床保冷库のご使用について

- ・病室の保冷库は簡易的なものです。
- ・開封した食べ物は、できるだけ速やかにお召し上がりください。
開封した飲料水は一両日中にお飲みください。
- ・生ものや果物など、傷みやすい食品の持ち込みはご遠慮ください。

◇当院では衛生・安全管理のため、週一回、職員が保冷库内の温度を確認させていただきます。ご了承ください。

✿ 診療に関して

1. 診察

担当医師は、入院の治療方針や治療計画をご説明いたします。わからないことやご提案等ありましたらお話しください。

担当医師（不在時は代行医師）は、毎日診察に伺います。診察時以外でも体に異常を感じたり、相談したいことがありましたらお気軽にお声をかけてください。

2. 検温・体重測定

体温の測定は原則として1日1回です。必要に応じて血圧・脈拍測定等を行います。

ご自分の状態を知っておくことも大事ですので、測定値をお知らせします。体重は入院時とその後毎週1回測定します。

治療上必要な場合には、その都度測定させていただきます。

3. 薬

入院前までご自分でお薬を飲まれていた方は、引き続きご自分で服用できるように、看護師および薬剤師がお薬の効果や副作用、飲み方などをご説明いたします。飲み忘れた場合や落としてしまった場合はスタッフにお知らせください。

4. 退院

救急患者さんの入院対応のため、重症の時期を脱し病状が安定した場合は転院のご相談をさせていただくことがございます。また、午前中の退院をお願いしておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。できるだけ早期の退院に向けて、多職種による医療チームで支援いたします。お気軽にご相談ください。

5. その他

●職員への謝礼はお受けしておりません。お気遣いのないようお願いいたします。

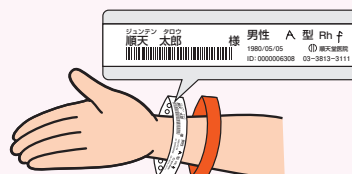


✿ 患者さんの安全について……

1. 氏名確認 リストバンドの着用

当院では患者間違いを防止するために、入院されるすべての方にリストバンドをつけていただいております。患者さんの氏名の文字が職員に読めるようお付けください。診察時、検査時、薬を渡すとき、書類を渡す時など、様々な場面でリストバンドでの患者確認を行っています。また、点滴や輸血時は夜間お休みになっている時も、照合システムを用いて照合を行いますので、ご協力ください。

リストバンドが汚れてしまった場合は、お取替えいたしますのでお申し出ください。



2. 転倒・転落防止

当院では生活環境を整備しながら転倒・転落の予防に努めております。入院時に患者さんが転びやすい傾向にあるかどうか、看護師が質問しながらチェックしていきます。また、患者さんの危険度にあわせて、ベッド柵や離床センサー（患者さんがベッドから離れると音が出るもの）等器具を使用しております。また危険度が高い方には、看護師等がサポートできるよう、赤色又は黄色の腕輪を装着していただいております。ご協力ください。

入院中は、ベッドで過ごすことが多くなり筋力が低下します。その予防のため簡単な運動を行うよう心がけてください。（12 ページの転倒予防体操の図を参考にしてください）

家族の方も、患者さんの普段の生活から安全面でお気づきになっていることなどをお知らせください。最適と思われる予防策を相談しながら決めさせていただきます。

✿ もし、転んでしまったら……

転倒・転落後の注意

病院内だけでなく、どこでも起こる転倒・転落はいつでも誰にでも起きる可能性があります。転倒・転落が起きた場合はできるだけ早く治療を行い重症にならないようにしなければなりません。軽く頭を打っただけの場合でも必ず医師または看護師にお知らせください。

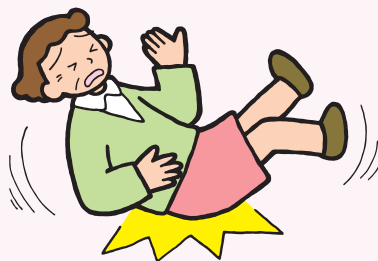
特に、ベッドからの転落によって頭部や身体を打ったとき、脳や身体にさまざまな変化が起こり、時には頭の中に出血が起こったり、手足の骨折が起こったりする場合があります。転倒・転落直後は異常がなくとも症状が出るまでに 2、3 日かかる場合もあります。

そこで以下の症状がありましたら医師または看護師にお知らせください。

- 頭痛がだんだん強くなってきたとき
- 吐き気や嘔吐が起こったとき
- 眼が見えにくくなってきたとき
- 手足が動きにくくなったり、腫れたり、しびれたり、物を落とすようになったりしたとき

転倒・転落を防ぐための注意点

- 履物は自宅で使用している履き慣れたものをおすすめします。
- かかとが覆われたもので滑らない素材のものが安全です。(スリッパは滑りやすく、ぬげやすいので危険です。ご注意ください)
- 眼鏡・補聴器・杖などは愛用のものをお持ちください。
- 寝巻きやパジャマの裾は身体にあった長さのものをお願いいたします。
- ベッドから降りるときは、一度ベッドに腰をかけてからゆっくり履物に足を入れてください。
- 動くもの（オーバーベッドテーブル・点滴スタンド）につかまるのは危険です。
- ベッドの上に立ち、ロッカーから物を取り出すのはおやめください。
- 歩行中の方向転換はゆっくり行ってください。
- 浴室などは濡れていますのですべらないよう手すりにおつかまりください。
- 筋力が落ちないように筋力アップの体操を行ってください。
- 小さいお子様のベッド柵は常にご使用ください。
- ベビーカーのシートベルトは必ず締めてください。



✿ 褥瘡（じょくそう）予防について

褥瘡とは床ずれのことです。ベッドに接する部位（かかと・臀部・背中・骨が出っ張っている部分）が圧迫され血流が悪くなると起こることがあります。ベッド上での治療が続いたり、思うように身体が動かせないような場合にも起こります。そのような場合には、定期的に身体の向きを変えたり、マットレスを交換したりしますのでご了承ください。

患者さんの状態によっては、褥瘡を防ぐことが困難な場合があります。その場合は、当院の褥瘡対策チームが担当医師や看護師と連携し予防や治療を行います。

✿ 点滴治療時の注意について

点滴治療を行う患者さんには最善の注意を払っておりますが、さまざまな原因（血管がもろい・寝返りでの針のずれ・同じ部位への複数回の注射・歩行時の動きなど）で薬液が血管外に漏れることがあります。状況によっては処置が必要になります。

看護師が継続的に観察しますが以下の症状が現れたらすぐに看護師にお知らせください。

- 点滴の針が入っている周囲が腫れてきたとき
- 針が入っている周囲が痛むとき
- 針が入っている周囲が赤くなってきたとき
- 点滴の落ち方が遅くなったり、速くなったり、止まったりしたとき

安全に点滴を行うためのお願い

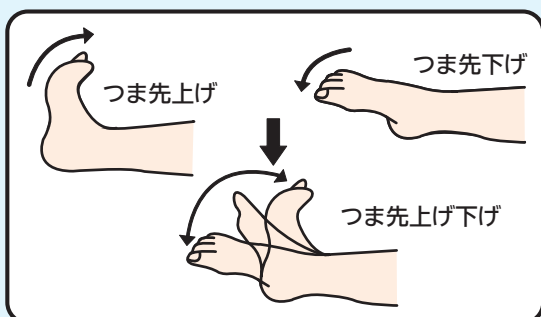
- 病棟から離れるときは、看護師に声をかけてください。
- 点滴をしている側の腕を激しく動かしたり、力を加えたりしないでください。
- 点滴が落ちる速度が速かったり、遅かったりにお気づきのときは、看護師を呼んでください。ご自分で調節するのは危険です。
- 機械を使って点滴を行っている場合にベッドを離れる際は、必ず看護師にお知らせください
- 看護師が針の部分や点滴の落ち具合を確認するときは、ご協力ください。
- 着がえをされる際は看護師にお知らせください。着がえる時チューブが絡み点滴が抜けたり、点滴の速度が変わる等危険です。

✿ 肺血栓塞栓症予防のために

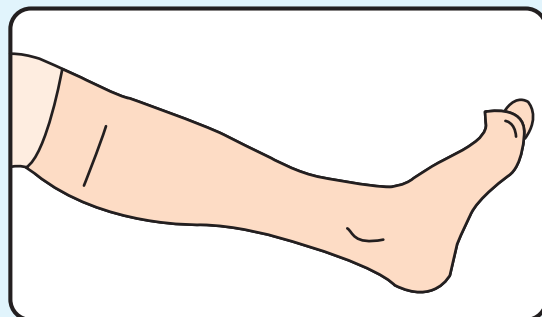
肺血栓塞栓症とは、一般にエコノミークラス症候群といわれています。長時間飛行機に乗っていると起こりやすいのでそのように呼ばれています。手術の後、初めて起き上がって歩行したり、排泄したりする時に起きやすいといわれています。予防のために血液をサラサラにする薬を使用したり、フロートロン（圧で膨らんだり縮んだりする機械）や弾性ストッキングを使用します。ストッキングがきつすぎたり、痛くなった場合には、すぐに看護師にお知らせください。またご自身で、足背を曲げたり伸ばしたりする運動を行っていただくと効果的です。

肺血栓塞栓症は予防が大切！

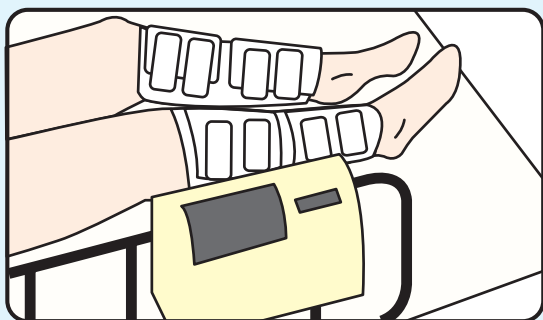
予防で大切なことは足の筋肉を動かすことです。



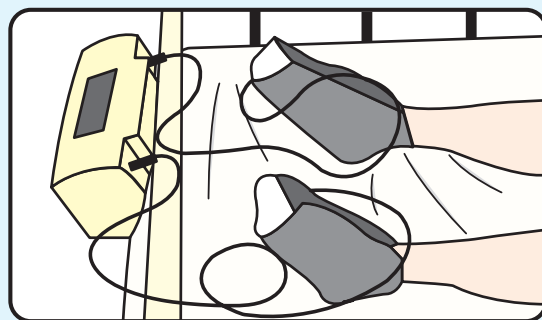
足関節背底屈運動



弾性ストッキング



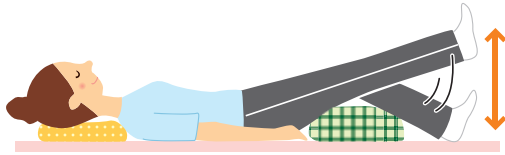
フロートロン（太もも、ふくらはぎタイプ）



フロートロン（つま先タイプ）

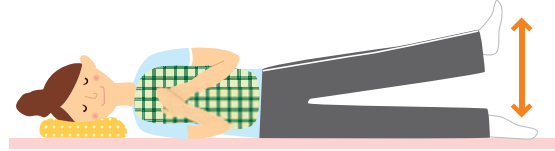
転倒予防体操

ひざの曲げ伸ばし（左右10回）



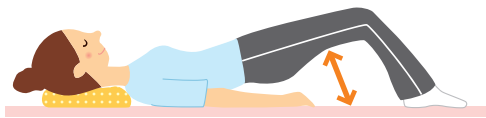
つま先を上げてひざを伸ばす
下ろす時はゆっくり

横向き足上げ（左右10回）



ひざを伸ばしかかとを上にあげる
下ろす時はゆっくり

お尻上げ運動（20回）



背中をつけたまま、お尻を上げて
5秒数えてゆっくり下ろす

体側のストレッチ（左右10回）



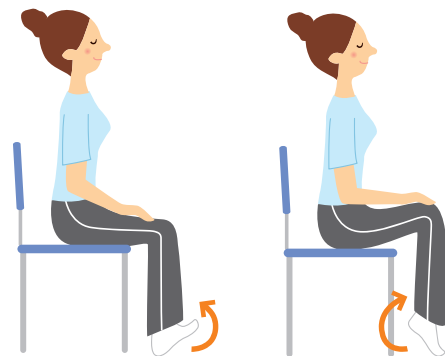
胸は正面に向けたまま
手を出来るだけ遠くに伸ばす

体の柔軟体操（左右10回）



胸を反らせるようにして体を回す

つま先・かかと上げ（左右10回）



ゆっくりと大きく動かす

無理のない範囲で行いましょう！

感染対策へのご協力のご案内

病院には、抵抗力の弱い患者さんが大勢います。医療関連感染を防止するために、病院職員はすべての場面で感染対策を実施しています。医療スタッフが、个人防护具（手袋、マスク、エプロン、ガウン等）を着用して患者の皆様に接する場面が多く見受けられますが、皆様を感染から守るための対策の一つです。患者の皆様に接する際、手指衛生後に手袋を着用するのは、微生物を皆様に付着させないためです。しかし、医療スタッフだけが対策を行っても感染は防げません。患者の皆様や病院に出入りするすべての人々にも感染対策に協力していただくことが重要になります。病原微生物は、厄介なことに目で見ることができません。見えない微生物の侵入を防止するために皆様の感染対策へのご協力をお願いいたします。

以下の方は面会をご遠慮ください

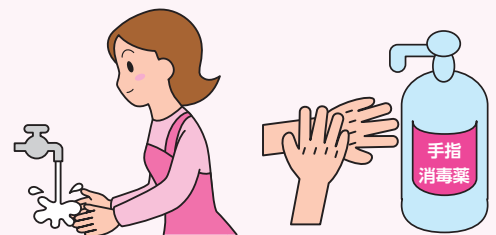
入院患者さんの健康をお守りするため、以下の症状がある方の面会は、ご遠慮ください。

- 熱がある（38 度以上）
- 鼻水
- 咳
- 吐き気、嘔吐
- 下痢
- 目の充血
- 全身倦怠感（体がだるい）
- 15 歳未満のお子さま

手 指 衛 生

手指衛生には、2 種類の方法があります。

- 流水と石鹸による手洗い
- 手指消毒薬剤を手指に擦り込む方法



病院では、どちらかを選択して実施してください。

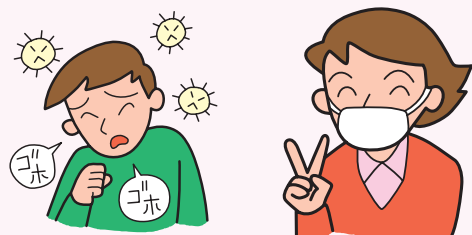
手指衛生は**病室に入る前、お帰りになる時、食事の前、トイレの後**に適宜実施してください。

咳のある患者さんの「咳エチケット」、症状のある方の面会制限について

咳や鼻汁、発熱などの風邪症状のウイルス疾患や、結核・はしか・みずぼうそうは、容易に患者さんにうつってしまいます。

咳エチケット

- 咳症状のある患者さんは、マスクを着用してください。
- 咳をする際には、口と鼻をティッシュペーパーなどで覆い、人がいない方に向かって咳をしてください。
- 痰や鼻をかんだ後には手指衛生の実施をお願いします。
- 症状のある方の面会は、ご遠慮ください。



■ 病院環境への注意

病院環境は、耐性菌を含む微生物が存在する可能性が高いため、清掃等の環境整備を実施しています。

- 荷物の持ち入れは、最小限でお願いいたします。
- 荷物は、床には置かずにテーブルの上や椅子の上、またはロッカーの中に収納してください。



■ 植物の持ち込みについて

- 院内への鉢植えの持ち込みはご遠慮ください。
鉢植えの土には、抵抗力の低下した患者さんに有害な真菌（カビ）が混入していることがあります。
- 一般病棟では、生花の持ち込みは可能ですが、以下のエリアはご遠慮ください。
集中治療室、血液内科病棟、抵抗力が低下し隔離中の個室
- 生花の手入れは、感染防止上、病棟職員は行えませんので、ご家族か面会者でお願いします。
- 花瓶の水は、毎日交換してください。
- しおれたら速やかに破棄してください。



■ 病室の移動について

- 感染拡大を予防する目的で、病室を移動してもらうことがあります。
- 部屋に入る際には、個人防護具（手袋、マスク、エプロン、ガウン等）の着用をお願いすることがあります。その際には、スタッフからの説明がありますのでお聞きください。
- 部屋に入る時、部屋から出る時には、必ず手指衛生をお願いいたします。

■ 針刺し・切創、粘膜曝露が発生した場合のお願い

- 患者さんの血液が付着した注射針が医療従事者に誤って刺さってしまった時等には、感染対策のために感染症検査の採血をさせていただくことがあります。その際には説明、同意を得たうえで実施します。なお、この検査に要する費用は、すべて病院の負担で実施させていただきます。



■ ウォシュレット（温水洗浄便座）の使用方法

- 便を排出する際はウォシュレットの温水を止めてください。ウォシュレットの温水を出しながら排便すると、便が飛び散り、便器やノズルが汚染されます。次に使用する方が便で汚染された温水で洗浄することにならないよう、ご協力ください。
- 6枚重ねたトイレットペーパーで肛門を拭いても目には見えませんが、拭いた手に1万から10万個の細菌が付着することが実験で確かめられています。
トイレ使用後には、必ず手をよく洗ってください。

当院における院内感染予防策のご案内

当院では、当院をご利用なさるすべての患者さん、訪問者の方を院内感染症からおまもりするために、病院の総力を挙げて取り組んでおります。

特に MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）、VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）、CRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）などの薬剤耐性菌※については、一段と注意を払って対策を行っております。その一環として、過去に薬剤耐性菌が検出されたことがある患者さんでは、外来、あるいは再入院時に薬剤耐性菌の保菌状態を確認し、適切な治療および感染予防が受けられるよう取り組んでおります。保菌状態の確認のため、菌種によって異なりますが、特定の部位や傷口を綿棒でぬぐったり、喀痰を取ったりして細菌培養検査を行うことがあります。結果確定には通常3診療日程度必要です。確定するまでの間は、保菌している方と同様の注意を払って対応させていただきます。具体的には、職員が接触する前後で手洗いを励行し、検査の順番に配慮することがあります。また、菌種によっては、保菌が判明する前からでも、当院の規定に従い、保菌者ではなくなるまで（あるいは非保菌者であることが確定するまで）の期間、個室への入室をお願いすることがございます。あらかじめご承知をお願い申し上げます。

なお、ご不明な点は、担当医や看護師を通じて、感染対策室までご連絡ください。

※ 薬剤耐性菌とは、抗生物質（抗菌薬）が効きにくい性質をもった細菌のことをいいます。



個人情報の保護について

●個人情報の利用目的について

順天堂医院では、患者さんの個人情報を下記の目的で利用させていただくことがございます。

これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さんからの同意をいただく事しておりますのでご安心ください。

●個人情報の開示・訂正・利用停止等について

順天堂医院では、患者さんの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

■順天堂医院における個人情報の利用目的

★医療提供

1. 当院での医療サービスの提供
2. 他の病院、診療所等との連携
3. 他の医療機関等から紹介の回答
4. 患者さんの診療のため、外部の医師などの意見・助言を求める場合
5. 検体検査業務の委託その他の業務委託
6. ご家族への病状説明
7. その他、患者さんへの医療提供に関する利用

★医療保険に関する事務

1. 当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
2. 審査支払機関へのレセプトの提出
3. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
4. 公費負担医療に関する行政機関などへのレセプトの提出、照会への回答
5. その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する医療保険事務に関する利用

★当院の管理運営業務

1. 会計、経理
2. 医療事故などの報告
3. 当該患者さんの医療サービスの向上
4. 入退院などの病棟管理
5. その他、当院の管理運営業務に関する利用

★企業などから委託を受けて行う健康診断などにおける、企業などへのその結果通知

★医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社などへの相談または届出など

★医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

★当院内において行われる医療実習への協力

★医療の質の向上を目的とした臨床研究

★外部監査機関への情報提供

★薬事法、がん対策基本法に基づく情報提供

上記のうち、他の医療機関などへの情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を「患者さん相談コーナー」にお申し出ください。

お申し出のないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。

これらの同意はあとからいつでも変更・撤回することが可能です。

交通のご案内



- JR線「御茶ノ水」駅下車（御茶ノ水橋口）……徒歩約5分
- 東京メトロ（丸ノ内線）「御茶ノ水」駅下車……徒歩約5分
（千代田線）「新御茶ノ水」駅下車……徒歩約7分
- バス（東京駅丸の内北口ー江北駅前）順天堂前下車
（駒込駅南口ー秋葉原駅前）順天堂前下車

院内のご案内

1号館1階「ご案内」で、受診に関する案内や、各種の
お問い合わせに対応しております。

案内時間 平 日：8：00～16：00

土曜日：8：00～12：00（第2土曜日を除く）

	1号館	B棟
ポ ス ト	タクシー乗り場脇	入口前
公 衆 電 話	外来各フロア・各病棟	1階・2階・3階 と各病棟
コインランドリー	各病棟	各病棟
デイルーム	各病棟	各病棟
売 店 (コンビニエンスストア)	1階	地下2階
フラワーショップ	正面入口	
レストラン	1階	D棟1階
コーヒーショップ	正面入口	
キャッシュサービス	1階	
コインロッカー	1階	
自動販売機	1階	4階(缶・PET2台、物販1台) 8階(缶・PET1台)

History

順天堂医院について

順天堂の歴史は、1838年初代堂主 佐藤泰然が江戸に蘭方塾を開いた時に始まり、西洋医学の医院として日本で最も長い歴史と伝統を誇ります。幕末の創設期から順天堂が特に意を注いだことは、第一に最新の医学、医療技術を導入することであり、第二に患者さんに対して「仁」の心をもって最善の医を提供することでした。この時代の順天堂の基本理念は、現在も脈々と受け継がれていると信じます。

順天堂医院は医学の各専門分野において世界のトップに並ぶ多くの優れたスタッフを有し、特定機能病院として、最先端の医学・医療技術を導入し、患者さんへの診療に役立たせております。

また、常に患者さんにとって安全で最良の医療を提供するという、開院以来永年に培われた患者さんへの思いやり、そしてやさしさをもって接する姿勢を終始実践しております。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

住 所 〒113-8431 東京都文京区本郷 3-1-3
電 話 03-3813-3111（大代表）
03-3812-4301（入院係直通）
U R L <http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂メディカルネットワーク

- ・順天堂大学静岡病院（静岡県）
- ・順天堂大学浦安病院（千葉県）
- ・順天堂越谷病院（埼玉県）
- ・順天堂東京江東高齢者医療センター（東京都江東区）
- ・順天堂大学練馬病院（東京都練馬区）